

Sports Fukushima

スポーツふくしま

21
2009.3

(財) 福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなでスポーツを!

I will play sports together!

巻頭言

「あいさつ」「返事」「履き物をそろえる」

今、スポーツに大きな注目が集まってきています。昨年の北京オリンピックでの日本選手の活躍、正月から始まった各種駅伝競走大会の本県選手の活躍等スポーツに関する話題は以前に比べて多くなってきていると感じるのは私だけではないと思います。

スポーツの持つ力が今まで以上に重要視され、青少年の健全育成だけでなく人づくりや地域づくりなどいろいろな方面で課題解決の有効手段として注目されています。

まず初めに、子供たちの生活環境とスポーツについてです。家庭、地域の教育力低下、三間（仲間・空間・時間）の欠如、多世代交流の欠如等の課題があり、地域の人々が、スポーツ環境を提供することにより、幼児期の豊かな遊び体験、児童生徒の体力低下傾向に歯止めをかけ、ルール、マナーを守ることを通じフェアプレーの精神を学び思いやりの心を育て、子供たちの健全育成に大きく寄与するものと考えています。

次に、地域機能回復とスポーツにおいては、地域コミュニティの活性化や多世代交流などにより、豊かな人間関係を構築できるものと考えています。

近年の急激な高齢社会とスポーツにおいては、高齢者がスポーツに親しむことによって医療費や要介護者の減少が期待され、また、心のケアや生きがいづくりを図る上で極めて効果的であると考えます。

高度情報化社会の中で仕事から解放されスポーツに取り組むことは、ストレスを軽減し、生活に張りを与え、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の予防や医療費の削減にも大きな効果があると考えます。

その他、国際社会とスポーツについては、言葉は違っても、同じルールの基で行われる大会を通じて、国際社会のなかの日本の立場や異文化との交流など相手を知ることによる国際交流の活性化が見込まれます。

そして、アマチュアスポーツとして発展してきた日本の中で、Jリーグ発足によるプロスポーツの台頭、それに伴うエンターテイメントとしてのスポーツの役割が大きくクローズアップしてきました。極限まで自分を追い続ける競技者の姿、素晴らしいプレーを連続してできるタフな体力などは、動的な芸術品といっても過言ではないと考えています。また、それに伴う経済効果、地域の活性化、マネジメント人材の養成など今までにない新しい効果が現れてきています。

このように、いろいろな方面でのスポーツによる効果が期待されますが、一方、ドーピング、体罰等マイナスの面も大きな社会問題であることも忘れてはいけない事です。

「スポーツマン」という言葉を辞書で調べてみると、運動家・運動選手と出てきますが、英語の辞書で調べると「Good Fellow」と出てきます。「いい奴、いい仲間」という意味です。すなわち、スポーツをやっている人はそれだけで、人間的にすばらしいと認められているということです。「フェアプレー」の精神を持ち、「グッドルーザー」であるということなのです。

今、体育協会としては、競技力の向上と生涯スポーツの振興を推進していますが、いつでも、どんな時でも、本当の「スポーツマン」を目指す気持ちを忘れてはならないと考えています。

では、まず最初にやらなければならないのは何でしょうか。それは、白石豊福島大学教授が言われている、「あいさつ」「返事」「履き物をそろえる」という当たり前のことから始めなくてはならないのではないのでしょうか。



財団法人福島県体育協会専務理事
鈴木 浩一

も

1 巻頭言

く

2 第64回 国民体育大会冬季大会成績

じ

3 第64回 国民体育大会冬季大会寄稿

5 平成20年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

7 平成20年度 うつくしまスポーツキッズ発掘事業

9 スノースポーツフェスタ2009in猪苗代湖畔の森

10 スノースポーツフェスタ2009inただみ

11 平成20年度 優秀指導者養成事業

12 みんなでつくろう総合型「ならはスポーツクラブ」

13 平成20年度 (財)福島県体育協会認定アスレティック
トレーナー養成特別講習会
うつくしまスポーツミーティング

14 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿
編集後記

【表紙写真説明】

右上／第64回国民体育大会冬季大会(新潟)スキー競技少年男子ジャイアントスラローム井上賢之介選手(猪苗代高校2年) 写真提供:福島民友新聞社

左上／第64回国民体育大会冬季大会(青森)スピードスケート競技ショートトラック種目の模様

右中・左下／第14回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会第5位の福島県チーム 写真提供:福島民報社

11人抜きを見せ挽上宏光選手(いわき総合高校3年)にたすきを渡す柏原竜二選手(東洋大1年) 写真提供:福島民報社

右下／「スノースポーツフェスタ2009in猪苗代湖畔の森」の講師の方々

第64回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派 遣 人 数			
						役 員	監 督	選 手	合 計
冬 季 大 会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	平成21年 1月28日 ～2月 1 日	青 森 県 八 戸 市 三 沢 部 町	佐藤 憲保	2	12	6	32 (2)	50 (2)
	スキー競技会	平成21年 2月17日 ～2月20日	新 潟 県 湯 沢 町 日 町 市	渡部 孝美	1	11 (3)	9 (11)	45	65 (14)

※1 派遣人数の()は競技団体派遣者で外数
※2 監督のうち9名は選手兼任

2 競技成績

大会	区分	男女総合得点(天皇杯)				女子総合得点(皇后杯)			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬 季 大 会	スケート競技会	6.0点	10点	16.0点	26位	0.0点	10点	10.0点	22位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	10位	—	—	—	—
	スキー競技会	13.0点	10点	23.0点	13位	7.0点	10点	17.0点	9位
	冬 季 総 合	19.0点	30点	49.0点	24位	7.0点	20点	27.0点	23位

〈参考:第63回国民体育大会冬季大会〉

大会	区分	男女総合得点(天皇杯)				女子総合得点(皇后杯)			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
冬 季 大 会	スケート競技会	6.0点	10点	16.0点	25位	0.0点	10点	10.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	11位	—	—	—	—
	スキー競技会	5.0点	10点	15.0点	16位	5.0点	10点	15.0点	9位
	冬 季 総 合	11.0点	30点	41.0点	27位	5.0点	20点	25.0点	22位

3 入賞状況(冬季大会)

スケート競技 競技得点6.0点 天皇杯26位 皇后杯22位

種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成年男子	スピード 2000m R	7	2	福島県	
				清水 秀 昭	郡山萌世高校教員
				本田 浩 史	東北乳運
				高橋 千 昭	郡山北工業高校教員
少年男子	スピード 2000m R	6	3	福島県	
				野内 俊 吾	あぶくま養護学校教員
				渡 邊 瞭	郡山商業高校3年
				渡 辺 大 貴	川俣高等学校2年
	スピード 500m	8	1	古 川 耀	郡山商業高校1年
				渡 辺 熒	郡山北工業高校3年
				渡 邊 瞭	郡山商業高校3年

スキー競技 競技得点13.0点 天皇杯13位 皇后杯9位

種 別	種 目	順 位	得 点	選 手 名	所 属
成年女子 B	ジャイアントスラローム	2	7	三星 佳 代	葵 高 校 教 員
少年男子	ジャイアントスラローム	3	6	井 上 賢之介	猪苗代高校2年



アイスホッケー競技成年男子



大会会場に掲げられる「輝け！福島県選手団」の横断幕

トキめき新潟国体を終えて

スキー競技成年女子B
ジャイアントスラローム 第2位

三星 佳代

(福島県立葵高等学校 教員)



今大会で13回目の挑戦となった国体。県代表として戦う特別な大会であり、特に今年は福島県代表として最後の国体と決めていたため、今までの感謝の気持ちをどうしても、滑りで、結果で伝えたい大会でありました。

シーズン初めから、国体直前合宿、レース当日までの充実したサポートや大きな声援すべてが、私にとって大きな力となり大きな自信となり、2位という結果につなげることができました。このような結果を残すことができたのは、福島県チーム皆様のおかげだと強く感じています。

これまであたたかいご指導をしてくださった先生方、すばらしい練習環境を整えてくださった体育協会の皆様、同じ目標に向かって共に練習してきたチームメイト、そしてどんなときも応援し続けてくれた家族に、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。長い間本当にありがとうございました。私は福島県代表としてスキー選手を続けてこれたことを誇りに思っています。

これからの福島県選手の全国での大活躍を期待しています。



スキー競技少年男子クロスカントリー種目にて力走する新田拓也選手(No128 会津学鳳高校3年)



少年男子ジャンプ種目に出場した渡部剛弘選手(大槻中3年)と五十嵐監督(右)・渡部コーチ(左)



福島県スキー競技アルペンチーム
(三星選手の表彰式において)



スキー競技少年男子ジャイアントスラローム第3位に入賞した井上賢之介選手(猪苗代高校2年) 写真提供:福島民友新聞社

第64回国民体育大会に向けた 少年の強化対策

福島県スケート連盟 菊池 由喜男
(福島県立郡山商業高等学校教諭)



今大会を振り返り、少年男子で2種目の入賞を果たしたことは大変喜ばしい限りであり、その原動力となった 渡邊瞭選手(郡山商業3年)を称えたい。

第64回大会に向けた強化対策として「少年男女リレー種目への出場」を目標に掲げ、選手全体の競技力底上げを実施した。近年、リレー種目へのエントリーはなく、また少年女子にいたっては、個人種目への出場さえ2年間途切れた状態である。競技選手はいるものの標準記録を突破できない選手が多く、確実に実力を向上させるためには基本動作を一つ一つ着実にステップアップさせると同時に、スピードアップを図らなければならなかった。

シーズンに入る時点で標準記録を突破している選手は男女各2名、リレー出場までは最低男女各2名の選手育成が必要であり、短い氷上練習時間の中でスピードアップを図るためには、渡邊選手の存在が必要不可欠となっていた。本来であれば渡邊選手は他県選手と合同練習を実施することでもっと上位への進出が期待できたであろうと考えられるが、当初の目的を達成させるために多少の犠牲を生む形となってしまった。しかし、他の選手がそれに応え、男子2名、女子3名の選手が見事に標準記録を突破し、本国体への出場権を得ると同時に少年男子は2年ぶり、少年女子は5年ぶりにリレー種目への出場を決めてくれた瞬間であった。

今年度は選手層の底上げが成功した年となり、今大会に出場を果たした少年女子は1、2年生が多く本国体でのレースでは決勝進出を逃したものの個人種目、リレー共に積極的なレース展開を見せてくれた。この経験を生かし、第65回大会に向けて、特に少年女子種別で入賞できるよう、選手強化の徹底を図っていきたい。



スピードスケート競技2000mリレーにおいて
第7位に入賞した成年男子チーム(左)と第6位に入賞した少年男子チーム(右)



スピードスケート競技少年男子500mにおいて
第8位に入賞した渡邊瞭選手(郡山商業高校3年)(左写真と右写真中央(写真提供:福島民友新聞社))

平成20年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

平成20年度財団法人福島県体育協会表彰式は、11月28日福島市のウエディングエルティで行われました。

各受賞者に佐藤雄平会長より表彰状と記念品が授与され、式の最後には受賞者を代表し、特別賞を受賞された久野綾香さんが受賞の喜びを述べ閉会となりました。

表彰式終了後行われた懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人ひとりへのお祝いと激励がなされました。

下記は今回受賞された皆様の紹介です。

(敬称は省略させていただきます。所属は成績を残した時のものです。)



表彰を受ける依田光さん(湖南高校)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 中島 功 (福島県ソフトテニス連盟)
- 加藤 岳郎 (福島県ハンドボール協会)
- 伊藤 秀行 (福島県卓球協会)
- 高橋 祐治 (福島県剣道連盟)
- 鎌田 弘史 (福島県自転車競技連盟)
- 山口 勇 (福島県スケート連盟)
- 三井 省三 (福島県ウエイトリフティング協会)
- 森 ひさえ (福島県ダンススポーツ連盟)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|---|---|--|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 丹野 麻美 (ナチュリル) ● 渡辺 真弓 (ナチュリル) ● 佐藤 美保 (ナチュリル) ● 吉田真希子 (ナチュリル) ● 木田 真有 (ナチュリル) ● 栗本佳世子 (ナチュリル) ● 岩崎 勝彦 (小高工業高校 3年) ● 梶 将徳 (白河旭高校 3年) ● 伊藤 彩 (喜多方高校 1年) ● 菊池 敦郎 (順天堂大学 3年) ● 山田 啓太 (筑波大学 3年) ● 金子祐太郎 (筑波大学 1年) ● 山野辺 薫 (筑波大学 4年) ● 佐藤 若菜 (仙台大学 3年) ● 新妻 唯 (楡葉町立楡葉中学校 2年) ● 岡 義紀 (いわき市立泉北小学校 6年) ● 伊藤 丈晃 (福島市立杉妻小学校 6年) ● 宗像 善也 (郡山市立大島小学校 5年) ● 田澤 範樹 (磐城高校 3年) ● 岡崎 達也 (福島市立福島第四中学校 1年) ● 若林 光男 (会津若松市立第三中学校 3年) ● 山田 真人 (株式会社タングロイ) <p>サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中村 沙樹 (JFAアカデミー福島(富岡高校 1年)) ● 亀岡 夏美 (JFAアカデミー福島(富岡高校 3年)) ● 浜田 遥 (JFAアカデミー福島(富岡高校 1年)) ● 田中 陽子 (JFAアカデミー福島(楡葉中学校 3年)) <p>卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 深谷 亮幸 (小野高校教員) ● 五十嵐麻莉依 (喜多方市立松山小学校 4年) ● 五十川美美 (郡山ザベリオ学園中学校教員) ● 深谷 由美 (小野高校卓球部コーチ) <p>ボート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 三田 綾華 (田村高校 3年) <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山口 雅文 (ミズノ株式会社) ● 加藤 和 (桜の聖母短期大学 1年) ● 江川 克彦 (日本体育大学 4年) ● 高橋 恵美 (福島成蹊高校 2年) ● 小林 千桜 (福島市立北信中学校 1年) ● 高木 淑礼 (いわき市立大野第一小学校 5年) ● 吉田 佳世 (清陵情報高校 2年) ● 西川 友章 (財団法人福島県体育協会) ● 成田 昂樹 (清陵情報高校 2年) | <p>自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 稲澤 隆輝 (郡山市立小山田小学校 6年) ● 我妻 敏 (日本大学 3年) ● 窪木 一茂 (日本大学 1年) ● 佐藤 裕輝 (学法石川高校 3年) ● 鈴木 信啓 (明治大学 3年) ● 橋川 健 (マトリックスパワータグ) ● 近内 雅明 (岩瀬農業高校 3年) <p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 桃田 賢斗 (富岡町立富岡第一中学校 2年) ● 佐藤 俊介 (富岡町立富岡第一中学校 3年) ● 斎藤 太一 (富岡町立富岡第一中学校 3年) ● 木村 百花 (富岡町立富岡第一中学校 3年) ● 早川紗保里 (富岡町立富岡第一中学校 2年) ● 原田なつみ (富岡町立富岡第一中学校 2年) ● 比内 恭兵 (富岡町立富岡第一中学校 教員) ● 本多 裕樹 (富岡高校 教員) ● 誉田 克彦 (福島県バドミントン協会) ● 遠藤夫美子 (郡山ポピー) ● 増子 トキ (郡山ポピー) ● 松崎 和朗 (福島県バドミントン協会) <p>アマチュアボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 片山聡一郎 (東洋大学 1年) <p>柔道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 富岡亜由美 (尚志高校 1年) <p>スキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 倉田孝太郎 (猪苗代スキースラブ) ● 田原 直哉 (徳洲会スキークラブ) ● 水谷 夏女 (チームリステル) ● 上野 修 (チームリステル) ● 附田 雄剛 (チームリステル) ● 遠藤 尚 (猪苗代高校 3年) <p>スケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 渡邊 唯 (山梨学院大学 2年) <p>馬術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大瀧 啓之 (大瀧馬事苑) <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吉田 真弘 (石川高校 3年) ● 児玉 邦弘 (福島工業高校 3年) ● 八巻 靖 (平成国際大学 2年) ● 黒江 雄治 (早稲田大学 3年) ● 小湊 和輝 (日本大学 2年) ● 加藤 温恭 (日本体育大学 1年) ● 菅野 勝則 (川俣高校 3年) ● 佐久間勝彦 (ゼビオ株式会社) | <p>レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長島 和幸 (クリナップ株式会社) ● 北岡 秀王 (クリナップ株式会社) ● 渡部 悠香 (日本体育大学 3年) ● 渡部 友章 (日本体育大学 2年) ● 星 友和 (国士館大学 2年) <p>フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 菅野 慶嗣 (川俣高校 3年) ● 佐藤 直輝 (川俣高校 3年) <p>銃剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塩田 瑛次 (須賀川市立西袋小学校 3年) ● 古川 知希 (郡山市立小山田小学校 5年) <p>空手道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 香川 幸允 (帝京大学 3年) <p>アーチェリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西田 昌司 (アストラゼネカ株式会社) <p>なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本田 佳菜 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 大滝 理子 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 宮森 聡美 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 長谷川響花 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 荒川 芳恵 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 佐藤 優 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 芦澤理恵子 (会津なぎなたスポーツ少年団) ● 石井 有希 (会津なぎなたスポーツ少年団) <p>ボウリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中田 明 (福浜大一建設株式会社) ● 伊藤 丈 (株式会社東北装美) ● 長嶺 正義 (三菱伸銅株式会社) ● 竹俣 菜耶 (会津若松ザベリオ学園 3年) <p>ゴルフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 酒井 美紀 (東日大昌平高校 2年) <p>カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宮田 悠佑 (安達高校 2年) ● 國嶋 諭 (日本体育大学 2年) ● 根本 孝幸 (日本体育大学 2年) ● 和田 恭平 (専修大学 2年) ● 嶋原 健司 (二本松工業高校 3年) ● 和田 藍加 (福島医療専門学校) <p>バウンドテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 相原 征子 (梁川バウンドテニスクラブ) |
|---|---|--|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

陸 上 競 技

- 第63回国民体育大会陸上競技 成年少年女子共通4×100mR 福島県
- 第77回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×400mR 福島大学
- 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR ナチュリル
- 第92回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×100mR ナチュリル
- 第92回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×100mR 福島大学
- 第92回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mR ナチュリル
- 第92回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mR 福島大学

ソ フ ト テ ニ ス

- 第19回 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 福島県女子選抜

卓 球

- 平成20年度全国教職員卓球選手権大会女子団体 福島県

ボ ー ト

- 第63回国民体育大会ボート競技 少年女子舵手付クォドルブル 福島選抜

剣 道

- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 剣道競技女子団体 若松商業高校

水 泳

- 第30回 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 女子10歳以下200mリレー スウィン大教いわか
- 第31回 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 男子10歳以下200mリレー スウィン大教いわか

自 転 車 競 技

- 第63回国民体育大会自転車競技 4km 団体追抜競走 福島県

ホ ッ ケ ー

- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 ホッケー競技男子 東白川農商高校

バ ス ケ ッ ト ボ ー ル

- 第46回男子全日本教員バスケットボール選手権大会 福島教員 A
- 平成20年度全国高等学校定時制・通信制体育大会 バスケットボール競技女子 郡山萌世高校

バ ド ミ ン ト ン

- 第8回全国中学校バドミントン選手権大会 福島県選抜

- 第63回国民体育大会バドミントン競技 少年男子 福島県
- 第47回全日本教職員バドミントン選手権大会 一般男子 福島県

柔 道

- 第63回国民体育大会柔道競技 少年男子 福島県

バ レ ー ボ ー ル

- 平成19年度全国高等学校定時制・通信制体育大会 バレーボール競技 郡山萌世高校

ソ フ ト ボ ー ル

- 第63回国民体育大会ソフトボール競技 少年男子 福島県
- 平成20年度 第23回全日本壮年ソフトボール大会 福島北ソフトボールクラブ

フ ェ ン シ ン グ

- 第32回全国高等学校選抜フェンシング大会 男子学校対抗 川俣高校

銃 剣 道

- 平成20年度全日本武道銃剣道錬成大会 団体(小5, 6年) 須賀川銃剣道スポーツ少年団

空 手 道

- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 空手道競技 女子団体組手 学校法人松韻学園福島高校

ボ ウ リ ン グ

- 内閣総理大臣杯第36回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 混合4人チーム戦 福島県
- 文部科学大臣杯第46回全日本ボウリング選手権大会 女子2人チーム戦 福島県 B

カ ヌ ー

- 平成20年度日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会 男子カヤックフォア500m 福島県
- JOC 平成20年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックフォア500m 二本松市立東和中学校
- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技男子カヤックフォア200m 安達高校
- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技男子カヤックフォア500m 安達高校
- 平成20年度日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会 女子カヤックペア500m 安達高校
- 平成20年度日本カヌーフラットウォーターレーシングジュニア選手権大会 男子カヤックペア500m 安達高校
- 平成20年度全国高等学校総合体育大会 カヌー競技 男子カヤックペア500m 安達高校

綱 引

- 2008全日本ジュニア綱引選手権大会 ジュニア280kg以下クラス ヤングブラザーススポーツ少年団
- 2008全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ユース480kg以下クラス 若宮スピリッツ

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

ソ フ ト テ ニ ス

- 大竹 学(郡山第二中学校教員)

ボ ー ト

- 五十嵐 誠(湖南高校教員)

剣 道

- 馬場 正文(若松商業高校教員)

ホ ッ ケ ー

- 遠藤浩太郎(東白川農商高校教員)

バ ス ケ ッ ト ボ ー ル

- 渡邊 拓也(本宮高校教員)

バ ス ケ ッ ト ボ ー ル

- 八島 正道(郡山萌世高校(定時制)教員)

バ ド ミ ン ト ン

- 斎藤 亘(富岡第一中学校教員)

バ ド ミ ン ト ン

- 大堀 均(富岡高校教員)

柔 道

- 遠藤 雅一(若松商業高校教員)

柔 道

- 下山田恵一(田村高校教員)

ソ フ ト ボ ー ル

- 大森 史仁(郡山北工業高校教員)

ソ フ ト ボ ー ル

- 野田寛一郎(福島北ソフトボールクラブ)

バ レ ー ボ ー ル

- 嶋原 靖伸(あさか開成高校教員)

ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ

- 小野寺浩亀(勿来工業高校教員)

レ ス リ ン グ

- 今村 浩之(クリナップ株式会社)

銃 剣 道

- 渡辺 克則(須賀川銃剣道スポーツ少年団)

空 手 道

- 本間 大造(学校法人松韻学園福島高校教員)

カ ヌ ー

- 軽部 英敏(安達高校教員)

カ ヌ ー

- 小久保英一知(二本松工業高校教員)

カ ヌ ー

- 斎藤 里加(東和中学校教員)

社会体育優良団体賞

地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 勿来卓球クラブ ● 本宮スキークラブ
- 会津なぎなたスポーツ少年団

受賞者代表謝辞を述べる
久野綾香さん(株式会社久野製作所)

懇談会の様子

特 別 賞

国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 丸山桂里奈(東京電力女子サッカー部マリーゼ)
2008北京オリンピック 女子サッカー競技 第4位
- 久野 綾香(株式会社久野製作所)
2008北京オリンピック カヌー競技 フラットウォーターレーシング女子カヤックフォア500m 第6位
- 八巻 智美(郡山市役所)
2008北京パラリンピック 陸上競技 女子100m・200m(車椅子使用) 第2位
- 増子 恵美(財団法人福島県障がい者スポーツ協会)
2008北京パラリンピック 車椅子バスケットボール女子 第4位
- 佐藤 聡(株式会社ダイユーエイト)
2008北京パラリンピック 車椅子バスケットボール男子 第7位
- 川本 和久(福島大学)
福島大学陸上競技部を長年指導し、北京オリンピックに5名の選手を出場させた。
また、日本学生陸上競技対校選手権大会において福島大学を女子総合2連覇に導いた。
- 福島大学陸上競技部
日本学生陸上競技対校選手権大会 女子総合2連覇

平成20年度 うつくしまスポーツキッズ



発掘事業



将来有望な人材の発掘・育成を目指して行ってきた本事業は、今年で4年目を迎えました。「スポーツ大好き!」「なにかスポーツをやってみたい!!」という小学生(2～5年生)を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望を持ってスポーツに取り組むことができるよう様々な支援をしています。



第1ステージ ◆ 発掘テスト ◆

平成20年度うつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～7月の間に、福島県内6会場で行われました。県内全ての小学校に募集をしたところ、約900名の応募があり、782名の子どもたちの測定を実施することができました。

選考の結果、50名が選ばれ、昨年の5年生17名を含め、67名が第2ステージに進みました。

実施内容(種目)

反復横跳 [回]	膝立ちボール投 [m]
閉眼歩行 [cm]	四方向ステップ [秒]
立五段跳 [cm]	全身反応テスト [秒]
25m走 [秒]	しっぽ取りゲーム[点]

第1ステージ(スポーツキッズ発掘テスト)日程

実施日	地 区	会 場	参加数
5月24日	いわき	いわき市立総合体育館	118名
5月31日	相双	大熊総合スポーツセンター	75名
6月 7日	会津	河東総合体育館	100名
6月14日	県南	須賀川アリーナ	201名
6月28日	県中	本宮市総合体育館	184名
7月 5日	県北	あづま総合体育館	202名



準備体操

参加者数内訳

参加者数	男 子	女 子	学年合計
2～3年	282名	185名	467名
4～5年	169名	146名	315名
男女合計	451名	331名	782名



反復横跳



25m走



しっぽ取りゲーム



立五段跳



膝立ちボール投

第2ステージ ◆ クロストレーニング ◆

第2ステージに選考されたキッズは、福島県体育協会と加盟競技団体が連携して、8月から行われたクロストレーニングに参加しました。8月のコーディネーションラダートレーニング(開始式)から1月の宿泊トレーニング(修了式)まで、全14回が行われました。

宿泊トレーニングでは、生活習慣やコミュニケーション等のトレーニングを行い、また2日目にはハンドボール全日本代表の宮崎大輔選手を迎え、ハンドボール教室を実施しました。

キッズがトレーニングを受けている間に、保護者プログラムを行い、栄養学やテーピング等の講習会も実施しました。

クロストレーニング日程



開始式



テニス



アマチュアボクシング

種 目	主管団体	日 程	会 場
コーディネーションラダートレーニング(開始式)	県体協(外部指導者招聘)	8月30日	福島市
ラグビーフットボール①	県ラグビーフットボール協会	9月 7日	広野町
トランボルリン	県トランボルリン協会	9月20日	郡山市
バスケットボール①	県バスケットボール協会	9月28日	二本松市
バスケットボール②	県バスケットボール協会	10月 5日	二本松市
テニス①	県テニス協会	10月12日	国見町
テニス②	県テニス協会	10月19日	国見町
山岳(ボルダリング)①	県山岳連盟	11月 3日	郡山市
ラグビーフットボール②	県ラグビーフットボール協会	11月 8日	いわき市
アマチュアボクシング①	県アマチュアボクシング連盟	11月15日	福島市
山岳(ボルダリング)②	県山岳連盟	11月24日	郡山市
ハンドボール	県ハンドボール協会	11月30日	石川町
アマチュアボクシング②	県アマチュアボクシング連盟	12月 6日	いわき市
バドミントン	県バドミントン協会	12月14日	猪苗代町
宿泊トレーニング・修了式	県体協(外部指導者招聘)	1月17日～18日	福島市



山岳(ボルダリング)



ラグビーフットボール

宿泊トレーニングの様子



コーディネーションバランスボールトレーニング



ミーティングの風景



保護者プログラム(テーピング講習会)



食事の風景



宮崎選手のハンドボール教室



修了式

第2ステージ ◆ 体験プログラム ◆

9月から1月までの間に、11回の体験プログラムが実施されました。体験プログラムは、クロストレーニングとは異なり、興味のあるキッズなら誰でも参加できるプログラム。今年は、7つの競技団体にご協力頂き、充実したプログラムを実施することができました。

競 技	主管団体	日 程	会 場	参加人数
カヌー	県カヌー協会	9月 7日	二本松市	25名
セーリング	県セーリング連盟	9月13日	いわき市	7名
ボート	県ボート協会	9月13日・10月25日	喜多方市	2名・5名
トライアスロン	県トライアスロン協会	9月14日	福島市	8名
スポーツチャンバラ	県スポーツチャンバラ協会	9月14日	いわき市	5名
スケート	県スケート連盟	11月22日・11月29日・1月10日	郡山市	46名・39名・11名
レスリング	県レスリング協会	10月11日・11月 8日	いわき市・南会津町	4名・3名



セーリング



スケート



ボート

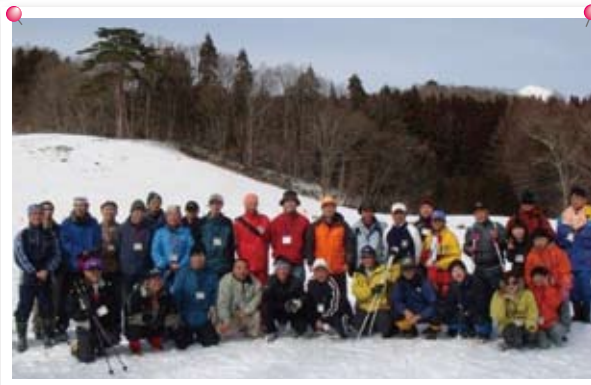


レスリング

(財)福島県スポーツ振興基金助成事業

生涯スポーツキャンペーン

「スノースポーツフェスタ2009in猪苗代湖畔の森」



本協会では、ウインタースポーツや自然体験など、広く県民に本県の豊かな自然や気候特性を活かした生涯スポーツの一層の普及・振興に努めています。その第一弾として「スノースポーツフェスタ2009in猪苗代湖畔の森」を開催しました。

第1会場の「国民宿舎翁島荘」では、湖畔の森スノートレッキングフェスティバルと称し、午前中はネイチャースキー、スノーハイキング、ウインターウォーキングに分かれて活動し、午後からは、オリンピック金メダリストの荻原健司氏を特別ゲストにお招きし、ふれあい交流会やスプリントコンテストを実施しました。

また、第2会場の「磐梯南ヶ丘牧場」では、トレーニング教室&ノルディックスキー大会を実施しました。午前中のトレーニング教室では、荻原健司氏も積極的に指導に加わり、参加者たちと交流を深めました。

雲一つない快晴のもと、猪苗代湖畔の自然豊かなロケーションの中で、それぞれの会場で参加者たちは爽やかな汗を流しました。

期 日 平成21年2月22日(日)

会 場 猪苗代町「国民宿舎翁島荘」(第1会場)、「磐梯南ヶ丘牧場」(第2会場)

内 容



湖畔の森スノートレッキングフェスティバル(第1会場)

- ネイチャースキーツアー、名倉山スノーハイキング、ノルディックウインターウォーキング
ゲスト：日本ノルディックフィットネス協会マスターインストラクター 星 勝久氏
- 荻原健司さんとのふれあい交流会、クロスカントリースキー・スプリントコンテスト
特別ゲスト：荻原 健司氏
- スポーツ医事・トレーニング相談講座「運動と栄養のバランスについて」
講師：公立藤田総合病院管理栄養士 山崎 有理子氏



トレーニング教室&ノルディックスキー大会(第2会場)

- クロスカントリースキートレーニング教室、ノルディックスキー大会
特別ゲスト：荻原健司氏
- スポーツ医事・トレーニング相談講座
「スキー・ストレッチングについて」
講師：アスレティックトレーナー
馬場 俊輔氏



(財)福島県スポーツ振興基金助成事業

生涯スポーツキャンペーン



「スノースポーツフェスタ 2009inただみ」

今年度で3年目となる「スノースポーツフェスタinただみ」では、スポーツクラブやトップアスリートとの交流もあり、雪を利用したウィンタースポーツやレクリエーションを通して、親睦と交流を深める素晴らしい機会になりました。

雪交じりの天候で始まりましたが、次第に回復し青空のもとで楽しむことができました。クロスカントリースキーで

は、市川氏も小中学生と一緒にコースを周回し、トップレベルの技を披露しました。また、雪上バレーボールでは、屋内とは違う感覚に戸惑いながらもプレーをする2mの長身を活かしたプレーを披露した蔭山氏の一挙手一投足に参加者たちは歓声を上げていました。

期 日 平成21年3月15日(日) 会 場 南会津郡只見町「季の郷湯ら里」

トップアスリート 紹介

・雪上バレーボール……………ソウルオリンピック バレーボール日本代表 蔭山 弘道氏
・クロスカントリースキースプリントレース… FISノルディックジュニア世界選手権入賞 市川 智也氏



平成20年度 優秀指導者養成事業

本協会では、重点事項として「指導者の養成・確保」を掲げている。そこで、競技力向上のための指導者養成を目的とした、「優秀指導者養成事業」が行われた。

この事業は平成17年度より実施されており、今年で4年目。今年度は平成18年度より指定された、ゴール型6競技の32名が対象で、3回にわたって実施された講習会に参加した。



対象競技: バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、ホッケー、アイスホッケー

第1回

講師 勝田 隆 先生(仙台大学)
日時 平成20年5月26日(月) 13:00~15:00
場所 福島県自治会館
テーマ 「私たちは『スポーツ』を未来から託されている
 ~ 未来のために『今』を解く ~

勝田隆先生はスポーツ情報戦略、コーチングにおける日本の第一人者。先生は、日本オリンピック委員会を中心に日本のスポーツ界の最先端でご活躍されている方で、本事業でご講演いただくのは三年連続四回目となる。

今回のテーマは「私たちは『スポーツ』を未来から託されているー未来のために『今』を解くー」である。さまざまな『今』を解く鍵をもとに、「スポーツとは何か?」「未来へスポーツをどう引き継いでいくか?」などについてそれぞれが考え、「コンセプトチャルスキル」(課題を発見する能力)を磨いた。



講師の勝田隆先生



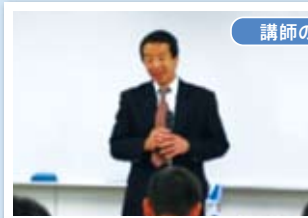
熱いディスカッション

第2回

講師 白石 豊 先生(福島大学)
日時 平成20年11月4日(火) 13:00~15:00
場所 ふくしま中町会館
テーマ 「指導者のためのコミュニケーションスキル」

白石豊先生は、ご専門の「スポーツ運動学」と「メンタルトレーニング」の日本における第一人者で、プロ・アマを問わず、多くのトップアスリートの心理的サポートを行い、数々の成果を上げてこられた。

今回のテーマは、「指導者のためのコミュニケーションスキル」。選手のやる気を引き出すためのコーチング、効果的なコミュニケーションの技術などを、先生の豊富なお話を交えながらお話いただいた。さらには、戦後の日本で見失われがちだった、仏典など東洋に伝わる教えのお話も大変興味深いものであった。



講師の白石豊先生



集中して聴き入る受講者

第3回

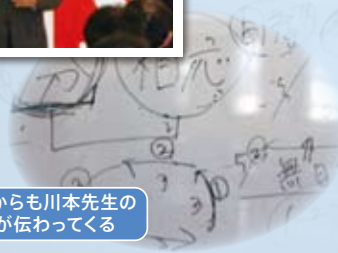
講師 川本 和久 先生(福島大学)
日時 平成21年2月6日(金) 13:00~15:00
場所 福島県自治会館
テーマ 「勝利への伴走者」

川本和久先生は、言わずと知れた、福島県が日本、世界に誇る陸上競技界の「名伯楽」。福島大学陸上競技部監督として日本インカレ女子総合2連覇をはじめ、北京オリンピックへ教え子を5名出場させるなどの輝かしい経歴の持ち主である。

本事業においても、かねてより川本先生を講師として望む声が多く、今回は超多忙のスケジュールの合間を縫っていただき講演の実現となった。テーマは、「勝利への伴走者」。受講者はゴール型競技の指導者だが、競技の棒を超えた、コーチとしての自己実現、基本的な心構えに気づかされたようであった。



講師の川本和久先生



ホワイトボードからも川本先生の「熱い思い」が伝わってくる

みんなでつくろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

ならは スポーツクラブ

私達「ならはスポーツクラブ」は、平成14年に設立しました。会員一丸となって「いつでも・どこでも・だれでも」をモットーに元気いっぱい活動中です。

ボランティア指導者から指導を受ける16種類の教室と外部指導者に委託している3種類の教室、そして子供から大人まで参加できるイベントを年11回企画、運営しています（以下参照）。

また、Jヴィレッジフィットネスクラブのプールやジム、各教室を低料金で利用できるのも大きな魅力の1つです。

笑顔の絶えない教室ばかりですが、特に『ドッジボール』や『遊び塾』は子供達に、『軽登山』や『フレッシュ』は中高年に人気があります。また『空手』や『木曜フットサル』の参加者は、競技スポーツとして練習の成果を地区大会や県大会で発揮しています。

各大会や『スノースクール』は、体育協会に審判や指導を依頼し、『名所巡りウォーキング』は学芸員に協力して頂いて、世代を超えて盛り上がるイベントとして地域と密着しているのも特徴です。

スポーツに縁がなかった方も気軽に参加し、体を動かす楽しさや人との出会いを通じて、自分にあった健康作りを見つけています。

私達は、今後も指導者や会員とコミュニケーションを取りながら、前述のスローガンを合言葉に多くの会員と住民の体力向上、健康維持のお手伝いが出来るようなよりよい事業展開をしていきたいと考えています。

無料の教室： ●ソフトテニス ●ダンススポーツ(社交ダンス)
●バスケットボール ●キッズ&レディースフットサル
●卓球 ●親子野球 ●空手
●ヨガ ●ノルディックウォーキング
●フレッシュ(ダンス、球技などのレクリエーション)
●バドミントン ●遊び塾(ニュースポーツ、昔遊びなど)
●ドッジボール ●W.F.N.木曜フットサル(高校生以上)

有料の教室： ●太極拳 ●リズム体操 ●トランポリン・体操 ●軽登山 ●自然森林セラピー

イベント： ●パークゴルフ大会 ●名所巡りウォーキング ●バスケットボール交流大会 ●登山教室(1泊2日)
●心肺蘇生・応急処置法講習会 ●フットサル大会(年2回) ●スポーツフェスティバル(パークゴルフなど4種目)
●クリスマス会 ●家庭婦人バレーボール大会 ●スノースクール(スキー・スノーボード・スノーシュー)



軽登山教室



フットサル大会



スポーツフェスティバル



バスケットボール大会

平成20年度

(財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成特別講習会

(期日) 平成20年11月8日(土)～9日(日)

(会場) 福島県青少年会館

(講師) 本宿 尚先生(公立藤田総合病院)

白石 豊先生(福島大学)

菊池辰夫先生(菊池医院)

斉藤和子先生(スポーツ医・科学委員)

堀川哲男先生(公立藤田総合病院)

吉田仁郎先生(A R Cクリニックよしだ整形外科)

中澤 謙先生(会津大学文化研究センター) 鬼澤武則先生(ながおさ整形外科)

(内容) 日本体育協会公認アスレティックトレーナー(以下日体協公認AT)、日体協公認AT養成講習会受講者、日体協公認AT養成講習会受講推薦者、県体育協会加盟団体および市町村体育協会からの推薦者13名を対象に2日間にわたり講習が行われました。

スポーツ心理学・栄養学・医学、トレーニング科学、ATの役割、予防とコンディショニング、アスレティックリハビリテーションなどの科目を8人の講師が担当し、受講者は講習会を通してATとしての資質の向上に努めました。本協会では、今年度立ち上げたAT部会の活動や研修会等を通して、情報提供・情報交換・情報共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結びつけていきたいと考えています。



うつくしまスポーツミーティング

～21世紀のスポーツシーンはふくしまから～

「総合型地域スポーツクラブ」の果たす役割を県民に啓発するため、コーディネーターにテレビ朝日アナウンサー宮嶋泰子氏をお招きし、「うつくしまスポーツミーティング」を開催しました。当日は約450名が参加し、会場が満員となる盛況ぶりでした。

(期日) 平成21年2月8日(日) (会場) 二本松市安達文化ホール

(内容) 第I部「スポーツトーク」

- | | | |
|-----------|-------|----------------------|
| ○コーディネーター | 宮嶋泰子氏 | 株式会社テレビ朝日アナウンサー |
| ○パネラー | 川本和久氏 | 北京オリンピック陸上競技コーチ |
| | 八巻智美氏 | 北京パラリンピック陸上競技 |
| | | 100m・200m銀メダル(車いす使用) |
| | 富田洋之氏 | 北京オリンピック体操競技 |
| | | 男子団体総合銀メダル 個人総合4位 |

第II部「シンポジウム」

- | | | |
|-----------|-------|-------------------------|
| ○コーディネーター | 宮嶋泰子氏 | 株式会社テレビ朝日アナウンサー |
| ○シンポジスト | 榎原孝彦氏 | NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ(愛知県) |
| | | マネジングディレクター |
| | 坂元譲次氏 | 文部科学省スポーツ・青少年局・生涯スポーツ課長 |
| | 白石 豊氏 | 福島県スポーツ振興審議会会長 |
| | 中澤 謙氏 | うつくしま広域スポーツセンター企画運営委員長 |

第I部では北京オリンピックやパラリンピックに出場した選手・コーチの大会にかける思いや出場までのプロセスを聞くことで、スポーツに対する意識を高める機会となりました。

第II部では体力向上や健康の維持、地域コミュニティづくりはもちろんのこと、競技力向上にも総合型地域スポーツクラブの果たす役割を確認しました。



平成20年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人団体の部(加入順)

福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
キング印刷(株)
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
ゼビオ(株)
花春酒造(株)
関場建設(株)
東開クレテック(株)
大和自動車交通(株)
福島トヨタ自動車(株)
クリナップ(株)いわき事業所
山木工業(株)
(株)クレハいわき工場
福島運送(株)
トップツアー(株)福島支店
(株)松崎
福島ガス(株)
福島ヤクルト販売(株)
(有)エンドースクリン
オノヤスポーツ(株)
(学)新潟総合学院FSG専門学校グループ
(株)福島放送
トーアエコー(株)
福島信用金庫
福島高校バレーボールOB会
(株)ル・プロジェ

(株)クラロンスポーツ
(有)吾妻印刷
(株)福島民報社
磐城通運(株)
福島交通(株)
(株)環境部分析研究所
福島県ゴルフ連盟
(有)番場産業
庄司建設工業(株)
原町港湾運送(株)
タニコー(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)山川印刷所
福浜大一建設(株)
(株)福島テレビエンタープライズ
大塚製菓(株)郡山出張所
(株)海老名建設
(株)ダイユーエイト
六陽印刷(株)
(株)NIPPOコーポレーション福島支店
名鉄観光サービス(株)
(株)日産サティオ福島
県高等学校体育連盟
アルパイン(株)
福島銀行
(有)和田印刷
(株)サンペンディング福島

福島県商信用組合
(株)ホシ製作所
福島民友新聞(株)
合資会社「東館」
(株)ファルテック福島工場
(株)古瀧
(株)ウエディングエルティ
東北建設(株)
富岡町体育協会
福島日産自動車(株)
(株)福島中央テレビ
(株)アクト
(株)民報印刷
(株)加地和組
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)高橋建設
(株)ヤクルト本社福島工場
タカラ印刷(株)
ふくしまスポーツネットワーク
スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)トヨタレンタリース福島
ヤマハ発動機(株)ブール事業部東北営業所
白河信用金庫
(株)ブリテックス
東北索道協会福島地区部会
(株)プロセス印刷

福島県信用金庫協会
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
東亜道路工業(株)福島営業所
福島テレビ(株)
(株)東北装美
(株)モリヨシ技研
(株)クレハ環境
(株)ひらい
福島県中央商工振興協同組合
福島県建設業協会双葉支部
植葉町体育協会
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
クレハ錦建設(株)
堀江工業(株)
名木製帽店
江花建設(株)
寿建設(株)
タナカ(株)情報ビジネス福島営業所
北斗印刷(株)
(株)レオネット東北
(株)テレビユー福島
福島観光自動車(株)
ムネカタ(株)
福島トヨベツ(株)
竹屋旅館
川井魚店

個人の部(加入順)

片平 俊夫
吉田 政勝
星 光一
荒川 伸一
菅波 信郎
菅波 智之
佐藤 武彦
藤田 彌五兵衛
廣瀬 敬彦
齋森 淳
齋藤 俊明

菅野 幸夫
林 昌久
三瓶 正幸
渡辺 知幸
渡辺 寛樹
穴戸 啓光
酒井 卓
富田 孝志
佐藤 祀男
渡辺 正吉

下山田好宏
朽木 耕作
国井 裕一
鈴木 義祐
渡辺 正仁
宗形 俊二
池田 昭宏
酒井 卓夫
平石 家治
高橋 千昭
高野 康典

北村 孝男
岩本 忠夫
長岐 博
佐藤 謙敬
伊藤 隆司
西郷 徹夫
佐藤 信行
田中 邦宏
山田 知
中條 雅彦
斎須 秀行

本宿 尚志
佐藤 昌
岩田 徹
橘 和彦
真田 実
神野美智男
宗田 昌史
星 香里
高橋 一浩
菅野 泰典
新井田 大

結城 勝夫
前田 長
伏見 俊哉
七宮 成夫
小椋 裕
柴山 進
長谷川清治
佐藤 弘樹
鈴木 基司
渡辺 勝
野地 陽一

佐藤 十次
五十嵐 源一郎
鈴木 浩一
遠藤 均
滝田 勝彦
須藤 博
柳沼 徹
東城 正幸
渡邊 彌
高橋 満
福本 政之

斎藤 本田
本服部 隆
福本 伸
関 博之
渡辺 洋司
矢澤 良伸
白根 一英
鈴木 栄喜
松村 正勝

久男 俊教
俊啓 啓吉
隆 隆
伸 伸
博之 博之
洋司 洋司
良伸 良伸
一英 一英
栄喜 栄喜
正勝 正勝

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、13年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会後5年間 ●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。

●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター(県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC.html
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター(富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

中通り広域スポーツセンター(たまかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL&FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター(会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/USC.html

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

http://www.sports-fukushima.or.jp

E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

インフォメーション

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日頃スポーツに親しんでいる皆さん、スポーツ指導のための公認資格を取得してみませんか?財団法人日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて各年代に応じた指導ができ、さらに競技力向上においてもその知識や技能を発揮できる指導者の育成に力を入れています。21年度に開催する予定の指導員養成講習会は以下の通りです。

競技団体名
指導員:陸上競技・水泳・バドミントン・ソフトボール・バレーボール
上級指導員:バレーボール

お問い合わせ
財団法人福島県体育協会生涯スポーツ係 TEL024-521-7896

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

- 1 電話によるご相談 TEL 024-521-7896
- 2 FAXによるご相談 FAX 024-521-7971
- 3 メールによるご相談 info@sports-fukushima.or.jp

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入ください。(1日目から保障になります。)

お問い合わせ
(財)スポーツ安全協会福島県支部
電話 024-526-4600

編集後記

北京オリンピック・パラリンピックやフリースタイル世界選手権など国際的なビックイベントでの本県ゆかりの選手や日本選手の活躍に勇気や感動をいただき、スポーツの持つすばらしい力を再認識した1年でした。

広く県民の皆様にはスポーツの情報提供を行っていきたくと考え、「Sports Fukushima」を刊行しています。お気づきの点があればお気軽にご意見を寄せてくださるようお願いいたします。

大会成功へのご支援 ありがとうございました。



2009年FISフリースタイルスキー 世界選手権猪苗代大会

2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会組織委員会

<http://inawashiro2009.jp>

